

箕面市の財政公表

財政経営室 ☎724・6708 FAX 723・2096

令和2(2020)年度決算は、9月3日から10月19日まで開かれた市議会定例会で審議の結果、適正であると認定を受けました。

令和2年度決算では、基金残高の減少・市債残高の増加により、厳しい財政状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、令和4年度当初予算では令和3年度に引き続き経常収支比率が100%を超え、2年連続で赤字となる可能性があります。当面は、厳しい行財政運営が強いられる見通しですが、令和3年2月に策定した「市新改革プラン」をもとに徹底した改革に取り組み、健全な行財政運営を確立していきます。

経常収支のバランス 経常収支比率

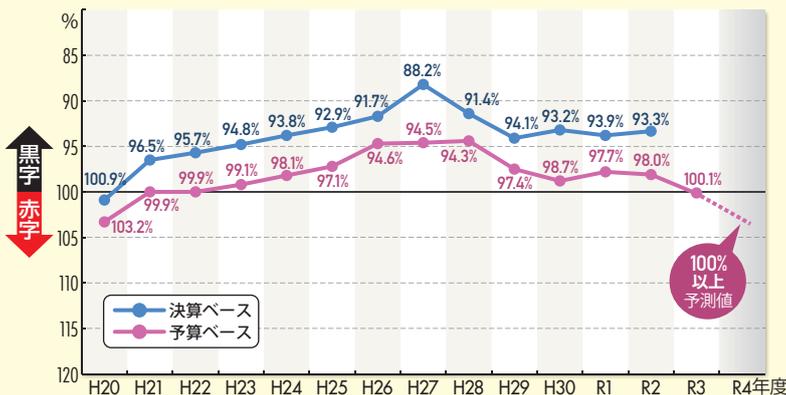
家計に例えると、「毎月の給料で、毎月の生活費が賄えているか?」を示しています。
(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)

93.3%(-0.6ポイント)

医療や介護保険への繰り出しによる社会保障関係費の増加や、公債費(借入金の返済)などの支出が増えた一方、彩都・箕面森町地区への企業進出により固定資産税などの税収が増加したため、前年度から0.6ポイント下がりました。

今後は…

社会保障関係費や公債費(借入金の返済)の増加が見込まれることから、令和4年度の当初予算ベースでは、2年連続で経常収支比率が100%を超えて赤字となる可能性があります。



基金の状況 基金残高 (普通会計ベース)

家計に例えると「貯金」です。

221億6200万円(-21億2700万円、-8.8%)

北大阪急行線の延伸整備や、新駅「箕面船場阪大前駅」前の文化施設整備のほか、新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業に基金を活用した結果、基金残高は約21億円減少しました。

今後は…

引き続き、市債の返済や各種プロジェクトの財源として基金を活用していくことになるため、基金残高は減少する見通しです。



市債の状況 市債残高 (普通会計ベース)

家計に例えると「ローン」です。

566億2200万円(+83億3400万円、+17.3%)

新駅周辺の整備や環境クリーンセンター基幹改良工事など、将来への投資を積極的に行ったことにより、市債残高は約83億円増加しました。

今後は…

引き続き、北大阪急行線の延伸や新駅周辺の整備など、各種プロジェクトにより市債残高は増加する見通しです。



上記のように、当面は厳しい行財政運営が強いられる見通しですが…

市では、健全な行財政運営と、質の高い市民サービスの提供を維持し続けるため、令和3年2月に策定した「市新改革プラン」を着実に実行していきます。

「市新改革プラン」について、詳しくは市ホームページ(QRコードからアクセス)をご覧ください。

